マゼラン雲に対する1.1mmダスト連続波観測

南谷哲宏 (北海道大学 大学院理学研究院)

竹腰達哉、徂徠和夫(北大)、水野範和(国立天文台)、 河村晶子、福井康雄(名大)、大西利和(大阪府大)、 河野孝太郎(東大)、小麦真也(JAXA/ISAS)、濤崎智佳(上越教育大)、 Monica Rubio(チリ大)、AzTEC/ASTE team

マゼラン雲 大マゼラン雲の巨大分子雲

大マゼラン雲に対する1.1mm連続波高感度観測 その他の領域

ASTE搭載多色連続波カメラ





ともかく、距離が近い!! どの望遠鏡で見ても最も詳しく観測できる。 南半球からでないと観測できない。









Bolatto et al. 2007





マセラン 柔の特徴 ・ 圧倒的に近距離にある銀河 ・ どの波長で観測しても、最も詳しく観測できる銀河

重元素量が銀河系より少ない 大マゼラン雲で1/4、小マゼラン雲で1/10

大マゼラン雲には、若い大規模星団が存在





30 Doradus in the Large Magellanic Cloud Hubble Space Telescope • WFPC2

NASA, N. Walborn (STScl), J. Maiz-Apellániz (STScl), and R. Barbá (La Plata Observatory, Argentina) • STScl-PRC01-21

生まれたばかりの、若い星の集まりが、 強い紫外線を出して、周囲のガスを電離している





イメージ:光学写真 コントア:¹²CO(J=1-0)積分強度 (Fukui et al. 2008)

距離~50kpc (~15万光年) 星形成活動が活発



30 Doradus in the Large Magellanic Cloud Hubble Space Telescope • WFPC2

273個の巨大分子雲
 資量 > 2x10⁴ Msun
 (Fukui et al. 2008)







HII領域も若い星団も 付随しない 「星なし」(Starless) 56 個 (24.3 %) Type I

小規模HII領域のみ付随 120 clouds (52.2 %) Type II

若い星団 大規模HII領域が付随 54 clouds (23.5 %) Type III

若い星団のみ



Fukui (2006), Kawamura et al. (2009)

150 pc



GMCの進化段階との関係



ミリ波・サフミリ波帯連続波観測

マゼラン雲のような重元素量の小さな銀河における、分子ガスとダストの関係は?

◆ そこでの星形成との関係は?

• 巨大分子雲中の低温ダストからの連続波放射

- ・ダスト質量の大半を担っている
- ・温度・質量を導く





距離 ~ 50 kpc Face-on

重元素量 1/3 - 1/4 Zsolar ガス/ダスト比 銀河系に比べて高い 紫外線放射場が強い

低温ダストの性質を調べる

Spitzer衛星による観測



SIMBA/SESTによる観測

SEST 15m 鏡 SIMBA

37素子ボロメータ
1.2mm帯

HI領域方向の観測
30Dor, N159, etc.
Tdust: 17 - 24K
Mdust: ~10³ Msun
ガス/ダスト比: 10 - 600 (Ferreira 2004)





LMC N J0547-7041(GMC225)
 HII領域も、若い星団も付随しない
 Type | GMC

(Kawamura et al, 2009) • M ~ 1×10⁶ 太陽質量 (FuKui et al, 2008)



Kawamura et al. 2009









ASTE望遠鏡 ◆ □径10m **AzTEC** ・ 半導体ボロメータカメラ ◆ 144素子 • 波長 1.1mm (270GHz) • 帯域幅 50GHz • NEP ~ 5x10⁻¹⁷ W / √ Hz ビームサイズ:28秒角 (**7pc @ 50kpc**) 2008/10/7.12/25-26 ◆観測時間:16時間 ・リサージュスキャン • $1 \sigma \sim 1.4 \text{mJy}/\text{beam}$



カラー:1.1mm連続波フラックス 黄コントア:5σレベル(~7mJy/beam)





コントア: 1.1mm連続波

分子ガスとの比較

カラー:1.1mm連続波 青コントア: ¹²C0(J=1-0)積分強度 (SESTによる)

ここまでのまとめ 大質量星形成の兆候の見られない巨大分子雲、 LMC N J0547-7041に対して、AzTEC-ASTE で、1.1mm連続波観測を行った。 1 ~ 1.4mJy / beam という高感度を達成

◆空間分布は、160μmや、C0輝線と良い一致

◆ SEDフィットから

Tdust = 14.3 K, Mdust = 4.2×10³ Msun HII領域のものより低温 ・ ガス/ダスト比 = 170

SMC NE領域



Image: SERC-J Contour: ¹²CO(J=1-0) (Mizuno et al. 2001)

「なんてん」の 12CO(J=1-0)で検 出したものは、すべ て1.1mmでも検出。

それ以外にも、1.1mmソースを多数検出





28" (8pc)スケールの分解能 での初めての全面観測

上:Spitzer 160µm 下:AzTEC 1.1mm



 \cdot 5 σ ~ 25mJy/beam



28" (7pc)スケールの分解能での初めての全面観測



イメージ:光学写真 コントア:¹²CO(J=1-o)積分強度 (Fukui et al. 2008) AzTEC 1.1mm

ASTE搭載多色連続波カメラ開発

 やはり、ミリ波~サスミリ 波帯の連続波カメラが 欲しい!!
 特に短波長(高周波)側

 ASTEに搭載する連続波 カメラを開発中
 (東大・国立天文台・北 大)

大島泰(NRO)、川村雅之(東大/NRO) 南谷哲宏、竹腰達哉(北大) 田村陽一(NRO) 河野孝太郎(東大)、江澤元、川辺良平(NRO)



Distance measurement of SMGs
 Difference of color in sub-mm → Difference in distance

'Redder' galaxies = more distant

Extensive MULTI COLOR SMG imaging observations!!!



TES bolometer array

TES bolometer

- TES: Utilize rapid resistance change in superconducting normal state transition 140 120
- High sensitivity and fast response
- High yield based on micromachining technique
- Multiplexable
- → Large & sensitive array
- Low vibration sensitivity -> use of mechanical cooler

No more cryogens! + remote operation capable!

- Array design based on SPT spider web type absorber
- Coupling to optics
 - conical horn array
 - resonance cavity
- Bolometer NEP(expected)
 - 60aW / ~ Hz @ 270GHz
 - 70aW/~Hz @ 350GHz
 - 100aW / J Hz @ 650GHz
 - → Background limited (BLIP)





α

100

80 ъ 60 10090

80

70

60

R

ASTE望遠鏡搭載 連続波カメラの開発





Phase			111
搭載時期	2010年10月	2011年6月	2012年6月
バンド数	2	2	2
周波数带	270/350GHz	270/350GHz	350/670GHz
波長帯	1100/850µm	1100/850µm	850/450µm
画素数	169/271	169/271	271/881
FWHM	28/22″	28/22″	22″/11″
視野	7.5'	7.5'	7.5'
NEFD	10/35mJy/√s	10/35mJy/√s	35/8omJy/√s
Options			Multi color TES? (O'Brient+2009)

◆ 2010年10月 ASTE望遠鏡搭載



大質量星形成の兆候の見られない巨大分子雲、 LMC N J0547-7041に対して、AzTEC-ASTE で、1.1mm連続波観測

- 1σ~1.4mJy/beam という高感度を達成
- ・空間分布は、160μmや、CO輝線と良い一致
- SEDフィットから
 - Tdust = 14.3 K, Mdust = 4.2x10³ Msun
 - HII領域のものより低温
- ガス/ダスト比 = 170
- LMC全面, SMC全面, SMC NE領域も観測済み
 ASTE搭載多色連続波カメラを開発中
 2010年10月 ASTE望遠鏡搭載予定!!